

業 種	鉄道
取組分野	安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等
テ ー マ	大量退職に伴う技術伝承に関する取組み
取組の狙い	技術伝承のために現業機関等において安全に関する知識・指導力・技術力を持った核となる社員を育成する
具体的内容	<p>本社・支社の管理部門は、現業機関の社員等からの急速な世代交代による安全に関する技術伝承に対する不安の声や会社の年齢構成を考慮し、安全5ヵ年計画「安全ビジョン2013」の4本の柱の1つに「安全マネジメント体制の再構築」を掲げ、「安全を担う人づくり」に取組むこととした。本取組みの具体的内容は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「<u>熟知</u>」「<u>指導</u>」「<u>後継者づくり</u>」の3能力を備えた人材として、<u>全現業機関に「安全指導のキーマン（約850名）」となる社員を育成、配置</u>し、自職場の安全上の弱点、ルール、過去の事故事例等を熟知した上で、職場における指導を定期的に行う。 ○ <u>長く鉄道の経験を持ち、安全上のルールや過去の事故事例等についても指導出来る人材として、支社等に安全のプロ（17名）を育成、配置</u>し、経験・知識を活かして事故発生時の対応から部門間の横断的な問題解決、さらには「安全指導のキーマン」のサポートを実施。 ○ <u>安全についての知識が豊富で応用力のあるOB社員を「安全の語り部」（現在8名）として嘱託、配置</u>してセミナー等を定期的に行い、過去の事故や自身の経験を通して、知識・技術を次代に伝える取組みを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・年間の開催回数 46回（2011年度実績） ・セミナーには、延べ4900名が参加（2011年度実績）
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「安全指導のキーマン」が各現業機関で核となり、安全に関する具体的な取組み（若手に対する勉強会の開催、自職場の安全上の弱点を議論する等）が実施されるようになってきている。 ・各支社等で「安全のプロ」が中心となり、安全指導のキーマン等の育成を独自の方法で具体的に実施する等の取組みを進めている。 ・「安全の語り部」から、過去の悲惨な事故から現在のルールができていくこと、事故は絶対に発生させてはいけないこと等の思いや経験談を聞くことにより、安全に対する意識が高まっている社員が見られるようになってきている。
事業者名	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全企画部 (連絡先 03-5334-1167)